よこみち レポート

YOKOMICHI JUNKO

2025年 秋号 No.6

発行　大阪府議会議員
横道淳子 事務所



〒533-0013
大阪市東淀川区豊里6−29−7　久ービル7F
(06)6370−1135(代)
(06)6370−2257

いのち輝く安心の福祉社会をリード！

よこみち府議が問う福祉の未来

9月定例府議会・一般質問　9月29日



大阪府議会
一般質問はこちら ▶

■身寄りのない高齢者等への支援

Q 今後急増が見込まれる身寄りのない高齢者等への支援について、国は「日常生活自立支援事業」を拡充・発展させる方向で検討されているが、府としての取組みを問う。

A 今後の社会福祉法改正を見据え、必要に応じて意見集約を行い、国への要望と併せて府としても新たな支援体制の構築に向けた準備を進めていく。

■難聴児の早期発見・早期支援

Q 難聴児の早期発見・早期支援について、福祉、医療、保健の垣根を越えた取り組みや支援の継続をどう考えるのか。

A 府として府立福祉情報コミュニケーションセンターを難聴児支援の中核とし、相談窓口と支援機関の連携体制を整備し、保健・医療分野と協力した周知と支援体制の充実を図る方針である。



■支援学校の教育環境整備

Q 地元の東淀川支援学校、大阪北視覚支援学校の老朽化対策など、支援学校の教育環境整備について問う。

A 現在、支援学校では、すべての普通教室や特別教室に空調を設置するとともに、トイレの洋式化率は90％を超えるなど教育環境の整備を進めている。今後、内装リニューアル、美装化を検討する。

■ライフステージに応じたがん対策について

・働く世代の職域におけるがん検診の推進を！
・在宅医療や在宅での緩和ケア提供体制のさらなる充実を！

■新大阪駅周辺地域、淡路駅エリアのまちづくりについて



・地域の歴史認識をしっかりもち、誰にとってもバリアのないまちづくりを府市や関係者が連携しながら進めていくこと！

健康福祉常任委員会での質問項目　10月6日

1. 介護・福祉人材確保戦略の点検
2. 大阪府介護生産性向上センターにおける支援と周知
3. 介護支援専門員の業務負担軽減
4. 保育所等の職員による虐待に関する通報義務化
5. 妊産婦への支援体制について
6. 困難な問題を抱える女性への支援の取り組み、早期把握事業
7. 難聴児の支援にかかる情報提供の強化について
8. 障がい者文化芸術活動事業について
9. 困難を有する若者への支援について
10. (仮称)大阪依存症対策センター、オンライン相談
11. 緩和ケアの充実に向けた取り組みについて
12. 災害時の透析医療の確保



個人質問はこちら ▶　会派代表(意見開陳)はこちら ▶

大阪府議会議員
よこみち 淳子
横　道　じゅんこ



●プロフィール
公明党府本部青年局次長
大阪市生まれ東淀川区育ち
市立東井高野小学校、市立井高野中学校、
府立山田高校、華頂短期大学、桃山学院大学卒
社会福祉士・介護支援専門員
ソーシャルワーカーとして22年勤務

日々の活動を発信しています！是非ご覧ください！

LINE　X　Facebook　Instagram　@YOKOMICHI_JUNKO

公明党
令和7年 秋号

大阪府議会ニュース

Komeito Osaka Prefectural Assembly News

発行／公明党大阪府議会議員団
〒540-8570 大阪市中央区大手前2-1-22
TEL:06-6941-0286 FAX:06-6942-4060

公明党大阪府議会
議員団ホームページ

府全域の成長・発展へ府が市町村支援を!

性犯罪防止・子育て支援・教育の質向上で対策強化を

令和7年9月定例会で中野剛議員（政調会長・茨木市選出）が代表質問



▲代表質問する中野剛議員

結婚支援・働き方改革など少子化対策の抜本強化を
性犯罪・性暴力被害者支援ワンストップセンターの相談を強化

公明府議団は9月25日に代表質問を行い、万博閉会後の成長戦略や少子化対策、医療課題など府の諸課題について質疑。特に7月31日から9月5日まで実施した**府内37市町村との政策要望懇談会**でいただいた要望項目の実現を直接府に求めました。主な質疑内容は以下のとおりです。

- **結婚支援**の更なる強化と**若者の経済的不安の解消**、**共育て支援**を促進すべき
- 市町村への支援が全国最低レベルの府の**乳幼児医療費助成制度**を拡充すべき
- **府立学校の給食費無償化**の恒久実施。府立学校**特別教室**の空調を早期に全面設置すべき
- **性犯罪・性暴力被害者支援ワンストップセンター**が10月20日、**大阪府こころの健康総合センター**に移設。通称を**「ウィズユーおおさか」**とし、24時間365日、被害者がいつでも相談できるホットラインを開設。

【お問い合わせ】**ウィズユーおおさか**
#8891（全国共通フリーダイヤル）または**06-7494-3683**

ウィズユーおおさか

不登校の児童生徒をサポート
学びの多様化学校が来年4月開校

これまで公明府議団が訴えていた、不登校児童生徒へのサポート体制が大きく前進しました。

小中学生（政令市除く）を対象に、府内の不登校児童生徒の学びの機会の保障や居場所となることを目的に**大阪府不登校支援センター「まいど」**が令和7年度から大阪府教育センター内に設置されました。

高校生には、公立高校では全国2例目となる**「学びの多様化学校（不登校特例校）」**が大阪府教育センター附属高校の分校として来年4月に開校が決定しました。



▲不登校支援センター「まいど」を視察

【お問い合わせ】
まいど

学びの多様化学校
06-4397-3589

大学生等若者への食費支援事業
申請は12月16日まで、使用期限は翌年2月14日

国の交付金を活用した「子ども食費支援事業（お米クーポン）」の対象は18歳までですが、公明府議団は**「対象年齢を拡大」**を求め、今回、19歳から22歳が対象の**「大学生等若者への食費支援事業」**を実施します。

クーポンは7000円相当。対象は**2003年4月2日から2007年4月1日生まれ**で、申請日に**大阪府にお住まいの方**、または**週末や年末年始・夏休み等の長期休暇も含め、一定期間（概ね年間1カ月半程度）、府内の実家等で生活を送る方**となります。



詳しくは、
コールセンター
（0120-265-095）
または府HPをご参照ください。

討論より―
大阪の成長 安全・安心

- **2025大阪・関西万博**が閉幕したが、万博の真の成否は今後の大阪の成長や世界への貢献等これからの取り組みが重要。府の新成長戦略である「**Beyond EXPO 2025**」に最先端技術の産業化・実装化への戦略を明記し、**SDGsの達成**にむけ万博開催都市として貢献すべき。
- 少子高齢社会が進む中、介護人材の確保・定着は喫緊の課題。我が会派が提案し、開設された、**介護生産性向上支援センター**を活用し、生産性向上や人材確保支援を強化すること。
- 今夏から整備士不足により運航停止が継続して発生している**ドクターヘリ**については、救急医療や今後の災害対応を考えれば命に関わる重大問題。一刻も早く安定運航の確保を。

討論動画